富山市

上下水道局が発行する情報紙

vol.5
2026年10月

上下水道局だより

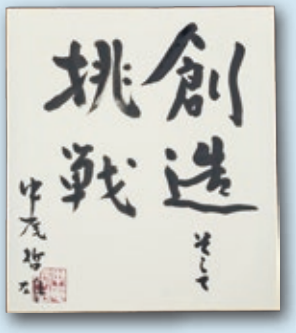




［ シンポジウムの様子 ］







▶富山市名誉市民 中尾哲雄（なかおてつお）氏の揮毫
「創造そして挑戦」を
上下水道局正面玄関に掲示しました



特集

富山市水道事業「通水」90周年・富山市上下水道局発足25周年 記念事業

- 富山市水道事業の歴史と記念事業イベント
- 記念シンポジウム開催

上下水道局だよりは、上下水道局ホームページからもご覧いただけます。（過去に発行したものも同様です）

▶

上下水道局だより
バックナンバー

富山市水道事業「通水」90周年
富山市上下水道局発足25周年

記念事業

昭和10年10月20日に水道水の「通水」を開始してから90周年、平成13年4月1日に水道局と下水道部が組織統合し、「富山市上下水道局」が発足してから25周年を迎えたことを記念し、上下水道局ではさまざまなイベントを実施しました。今号ではその様子をお届けします。

▶富山市水道事業の歴史

富山市の水道は、明治43年の調査から幾多の紆余曲折を経て、昭和9年（1934年）に事業認可を受け、昭和10年（1935年）10月20日に通水が開始されました。

明治22年4月1日 (1889)	富山市誕生：市制施行
昭和9年12月8日 (1934)	「簡易水道」の事業認可
昭和10年10月20日 (1935)	一部通水開始
昭和20年8月2日 (1945)	富山大空襲により 水道施設に壊滅的な被害
昭和40年6月 (1965)	流杉浄水場運転開始
平成4年3月 (1992)	上下水道局庁舎完成
平成13年4月1日 (2001)	富山市上下水道局発足
平成16年10月20～21日 (2004)	台風23号による浸水被害 （五福・桜谷・神明地区）
平成17年4月1日 (2005)	市町村合併・水道料金統一
平成21年4月 (2009)	新流杉浄水場運転開始
平成24年 (2012)	「とやまの水」 モンドセレクション初出品 令和3年(2021年)まで 10年連続金賞以上受賞 (うち最高金賞7度)
令和6年1月1日 (2024)	令和6年能登半島地震発生
令和8年10月9日 (2026)	水道事業「通水」90周年・ 上下水道局発足25周年 記念シンポジウム開催



◀富山大空襲による壊滅的被害



安野屋水源地▶





▲旧流杉浄水場

市町村合併

旧市町村ごとに異なっていた水道料金を最も安い旧富山市の料金に統一しました。



▲とやまの水

令和6年能登半島地震

市内で発生した漏水に対し迅速に対応しました。また、甚大な被害を受けた石川県七尾市や能登町へ応急復旧班を派遣しました。

富山市上下水道局は今後も利用者の皆さまへ安全で安心なサービスを安定して提供できるよう、日々努めてまいります。



▶記念事業として子どもたちの夏休み期間中、各種イベントを開催しました。

夏休み親子体験教室

流杉浄水場 8/2(日)・8/8(土)

薬品を使った水質検査やミネラルウォーターと水道水の利き水体験をしました。



参加者の声
当たり前に使用していた水が、24時間365日しっかりと管理されていることや、有峰湖等のお陰で富山市が水に恵まれていることがよく分かった。水に感謝して過ごしたい。

浜黒崎浄化センター 8/1(土)・8/9(日)

薬品を使った水質検査や汚水をきれいにしてくれる微生物の観察をしました。



参加者の声
子供も大人も楽しく下水道について知ることが出来た。普段何気なく使っている水について改めて考えるいい機会になりました。初めて知ることも多く、楽しかったです。

職場体験



流杉浄水場 8/21(金)

専用機器を使って水質データを分析したり、普段は入れない施設の点検などをしました。



参加者の声
水道水ができる工程を知ることができ、楽しく参加できた。

浜黒崎浄化センター 8/20(木)

汚水をきれいにする仕組みを学び、顕微鏡で浄化の状況を診断したり、普段は入れない施設の点検などをしました。



参加者の声
汚れた水をきれいに処理してくれているおかげで水が使えていることを初めて知った。普段見られない場所に行かせてもらって、楽しかったし、嬉しかった。

上下水道工事現場親子見学ツアー 8/4(火)

水道水を作る施設（上滝浄水場）や大雨時に浸水から「まち」を守る下水道管を設置する工事現場を見学しました。

参加者の声
マンホールを開けて中を見たり、配水池の中に入れたりしたことが印象に残った!







富山市水道事業「通水」90周年 富山市上下水道局発足25周年 記念シンポジウム

10月9日にオーバード・ホール／中ホールで、記念シンポジウムを開催しました。生活に欠かせない上下水道は、給水収益が減少する一方、施設の更新や耐震化、維持管理費用の増大など、多くの課題に直面しています。将来世代が安心して「当たり前」のように上下水道を使うために、今、私たちができることは何か、シンポジウムを通して参加者の皆さんと考える機会となりました。

参加者の声

普段何気なく使っている水道水だったが、将来の子どもたちが当たり前のように使っていくためにどうしたらいいのか、考えるきっかけになった。

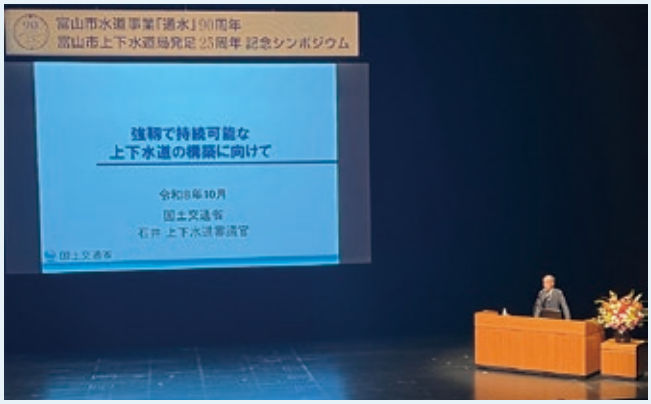
▶記念講演



演題

「強靱で持続可能な上下水道の構築に向けて」

国土交通省
上下水道審議官 石井（いしい） 宏幸（ひろゆき）氏



国土交通省上下水道審議官の石井氏は講演で、埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、下水道の点検手法や地下管路の施設管理のあり方を見直したと説明されました。また、人口減少が進む中で管路を維持管理する方策として「今後は複数自治体による事業運営の一体化が求められる」などとし、国土交通省として、今後も上下水道事業を運営する事業体を支援していく方針を示されました。

▶パネルディスカッション



テーマ

「未来へどうつなぐ上下水道」

～命を支える水を途切れさせないために～



コーディネーター
奥田（おくだ） 一宏（かずひろ）氏
ジャーナリスト

パネリスト
藤川（ふじかわ） 幸造（こうぞう）氏
全国管工事業協同組合連合会会長

植野（うえの） 芳彦（よしひこ）氏
富山市政策アドバイザー

村上（むらかみ） 綾子（あやこ）氏
防災士

前田（まえだ） 一士（かずし）
富山市上下水道事業管理者

藤川氏は災害時にまず大切なのは飲料水の確保だとし「一刻も早く命の水を届けたい」と発言。植野氏は「水道も道路も、経営が成り立つようみんなで考えていかなければいけない」と、インフラのメンテナンスに経営的視点を取り入れるべきと主張。村上氏は「千葉ほどの豪雨になれば、富山市内でも内水氾濫の恐れがある。対策を考えていかねば」と話されました。前田氏は「次世代に当たり前の水道を届けるため、市民の皆さんと一緒に新しい価値を創造し、現状に満足せず挑戦し続ける」と締めくくりました。

▶川柳・ポスターコンクール表彰式

応募総数109件(川柳103件、ポスター6件)の中から選ばれた作品の表彰式を行いました。

川柳最優秀賞受賞作品

小学生の部	中学生の部	一般の部
蛇口から 今日も地球が やってくる 藤ノ木小学校 4年生 花井（はない） 咲百合（さゆり）さん	清き水 感謝忘れず 次世代へ 速星中学校 3年生 滝脇（たきわき） 郁花（ふみか）さん	気付かない 妻と水道 ありがたみ 島田（しまだ） 真二（しんじ）さん

ポスター最優秀賞受賞作品



小学生の部

おいしい富山の水道水

神明小学校 6年生
櫻井（さくらい） 菜月（なつき）さん



中学生の部

おいしい! 富山のお水

大泉中学校 3年生
吉田（よしだ） 凛（りん）さん

上下水道トピックス 最新情報

見逃せない情報をチェックしてね!!



TOPICS 1 ▶トランジットモールに出店しました 9/27(日)

給水車からの給水体験をしたり、水道管を使った水鉄砲作りをしたりして、子どもたちが楽しみました。
（富山市管工事協同組合青年部と出店）

TOPICS 2 ▶タウンミーティング全6回終了しました

延べ112人の方にお越しいただきました。ありがとうございました。



TOPICS 3 ▶第8回富山市上下水道事業経営審議会を開催 7/31(金)

将来にわたり安定した上下水道サービスを提供していくため、令和9年度から令和18年度までの10年間を対象とした「第3次富山市上下水道事業中長期ビジョン」の骨子案について審議が行われました。

詳細はこちらから

TOPICS 4 ▶上下水道ワークショップ開催中 8/19(水)

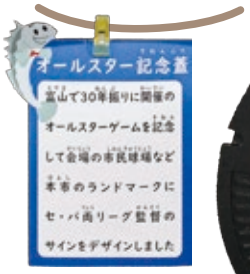
8月19日に開催した3回目のワークショップでは、流杉浄水場で「ツクル」をテーマに水道事業の歴史や、水ができるまでの仕組みを学びました。次回は11月13日に開催予定です。

※今年度の募集は終了しています。



▶マイナビ オールスターゲーム開催記念 デザインマンホール展示中!!

7月29日に富山市民球場で開催された「マイナビオールスターゲーム2026」の記念デザインマンホールを市役所2階お客さまサービスステーションで展示中です。ぜひお越しください。





▶富山グラウジーズ・ デザインマンホールを設置しました

富山グラウジーズを表現したデザインマンホール3基を富山グラウジーズのホームアリーナである「YKK AP　ARENA」周辺に設置しました。詳細はホームページをご覧ください。



ホームページ

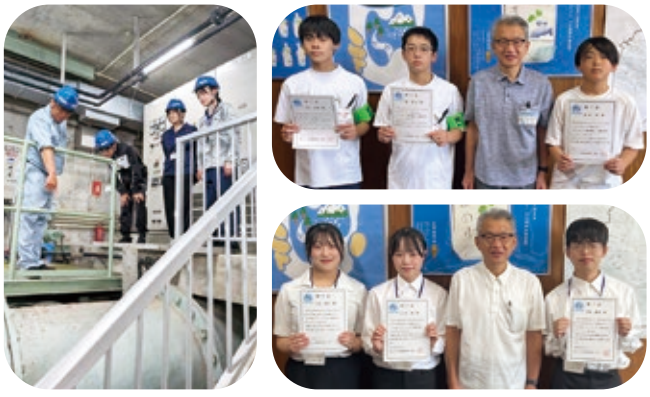
▶令和8年熊本地震における 応援給水活動のため職員を派遣

8月17日から21日まで、熊本県宇城市内での給水活動のため、給水車と職員2人を派遣し、現地で給水活動を行いました。被災地の方からは感謝の言葉をいただき、市として災害時における広域受援・支援の重要性を改めて認識する機会となりました。また、熊本市へ「とやまの水」ペットボトル100箱（2400本）を送りました。



▶「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」と 大学生の「インターンシップ」を 受け入れました

市内2校の中学生3人、県内外の大学生3人に上下水道局の仕事を体験してもらいました。修了後、前田上下水道事業管理者から修了証を交付しました。



コラム 4 上下水道あれこれ話

富山市の技術系職員（土木・設備など）の採用人数が、各年度の募集人数に達しない「欠員」状態が10年以上続いている。そしてついに、富山市が今春採用した技術系職員のうち上下水道局へ配置される者が平成17年の合併以来初めて一人もいない事態を迎えた。今後もこうした採用状況が続けば、生活の基盤インフラである上下水道施設の管理等に必要なノウハウや技術等のベテランから若手への継承が危惧される。少子化に歯止めがかからない中、上下水道というライフラインを支える職業を目指す若者を増やすため、官民挙げて知恵を絞り汗をかいていかなければならない。さて今年も、社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業として、市内の2つの中学校から2年生3名が上下水道局で職場体験を行った。生徒一人一人に修了証を渡す際、上下水道局を選んだ理由を尋ねると、異口同音に「何をやっているところなのかわからなかったから」との回答が返ってきた。改めて小・中学生を含む幅広い世代へ十分な情報を届ける必要性に気付かせられることとなった。

編集・発行　富山市上下水道局